

設立30周年記念誌

銀 齡



社団法人 町田市シルバー人材センター



目次

① 設立30周年記念式典	1
② シルバーを語る	8
③ 30年のあゆみ	12
④ グラフで見る30年の実績	16
⑤ 仲間からのメッセージ	18
⑥ 組織図と就業のしくみ	22
⑦ 会員の活動先	24
⑧ 設立30周年記念ボランティア	30
⑨ 求められる地域への貢献	32
⑩ 安全と健康	34
⑪ 役員と職員	36

「銀齢だより」の生い立ち

「銀齢だより」のルーツをご存じでしょうか。「銀齢」という言葉は辞典にはありませんが、「銀嶺」を調べてみると、「雪が降り積もって、銀色に輝く嶺」とあります。

「銀齢」は、歳を重ねて経験も知識も豊かになり、輝く命になったという意味でしょう。

「銀齢だより」を創刊した当時、題名を会員さんに公募して決定したそうです。

読み方が同じなので、銀嶺に銀齢をかけたにちがいありません。

表紙写真・白銀の富士

撮影 瀧田 次郎 (監事)

場所 山梨県南都留郡忍野村高座山
(たかざすやま)

日時 2006年12月24日 午前6時45分頃

天候 晴天 -4℃

表紙題字・銀齢

揮毫・東坊城 和長 (班長)

この字体は寄席文字といわれていて、縁起の良いものとされています。生まれたのは幕末のことで、以後、寄席の看板、宣伝ビラなどを書くときに使われています。

① 設立30周年記念式典

1980年
2010年

平成22年 10月16日（土）12時40分～16時 会場：町田市民ホール

◎第1部：式典（司会：矢内常務理事）

会長式辞
来賓祝辞（町田市長代理）
来賓紹介
表彰（班長功労者・職員永年勤続者）

◎第2部：アトラクション（司会：樋口忠正）

桜美林大学 スリーネイルズクラウンズ
広島県府中町シルバー人材センター
夢舞シルバー100有志（MJC）
全員によるボール体操

◎第3部：お楽しみ抽選会

第1部 式典

真角会長の式辞



来賓の方々（敬称略・順不同）
町田市長代理 いきいき健康部長

町田市民会館 廣田 満
町田市議会議員……………川畑 一隆

（財）東京しごと財団理事長……………宮下 茂
衆議院議員……………石毛 鏡子
衆議院議員……………榎渕 万里
東京都議会議員……………小磯 善彦
東京都議会議員……………今村 るか
東京都議会議員……………吉原 修
町田公共職業安定所長……………阿部 正和
町田商工会議所会頭……………平本 勝哉
（社）町田青年商工会議所理事長……………武藤 賢
町田市老人クラブ連合会会長……………村田 昭夫
FC町田ゼルビア代表……………守屋 実
（社）府中町シルバー人材センター理事長
松尾 武彦

▶ 地域班長功労者表彰(10年以上つとめた方)



▲ 当日出席された班長
左から、山口泰男、浜田和平、細野和江、斉藤芳三、手塚知子 (敬称略)



謝辞のことばを述べられた山口さん

表彰された方々 (氏名・勤続年数・地域)

磯野 泰夫	平成3年4月1日～16年3月31日	— (金井町)
斉藤 芳三	平成3年4月1日～15年7月1日	— (成瀬)
手塚 知子	平成7年4月1日～21年3月31日	— (成瀬)
橋口 博	平成10年11月1日～現在	— (図師)
浜田 和平	平成9年8月28～22年3月31日	— (山崎)
細野 和江	平成8年5月1日～19年10月31日	— (鶴間)
山口 泰男	平成6年7月1日～現在	— (玉川学園)
吉田 守正	平成8年3月1日～21年8月31日	— (木曾町)
吉村 克也	平成9年4月1日～19年3月31日	— (小山田桜台)

(50音別)

▶ 永年勤続職員の表彰（20年以上）



左から 天野美佐子（鶴川事務所長）松田良蔵（事務局長）真角（会長）高須政則（事務局長代理）、花上 学（次長）



職員を代表して謝辞をのべる松田局長

◇ 30年勤続

事務局長	松田 良蔵
事務局長代理	高須 政則
鶴川事務所長	天野美佐子

◇ 20年勤続

次長	花上 学
----	------



会場風景

第2部 アトラクション



桜美林大学“スリーネイルズクラウンズ”



広島県安芸郡府中町シルバー人材センター



夢舞シルバー100 有志 MJC



30周年記念
ボランティア活動
(美化清掃) 写真展示



日頃の猛練習の成果を上げる



賑わう会場の入り口



全国優勝もした 桜美林大学“スリーネイルズクラウンズ”

▶ 広島県府中町シルバー人材センターの踊り



広島県安芸郡府中町シルバー人材センター理事長
松尾 武彦

広島県安芸郡府中市シルバー人材センターは昭和62年12月に設立されました。現在町の人口約5万人に対して会員は331名です。

町田シルバー人材センターへ見学視察に来所されたり、平成21年10月の府中町シルバー人材センターの20周年記念式典に町田シルバー人材センターの「夢舞100」が招待され“ソーラン踊り”を披露しました。

返礼の意味を込めて遠路はるばるの友情出演です。



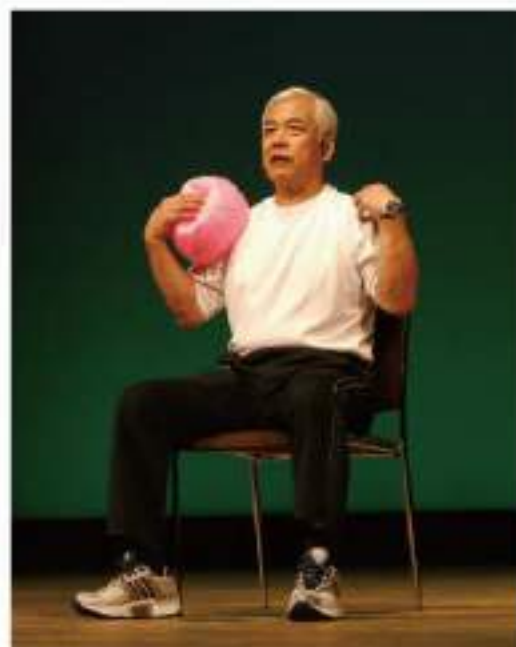
▶ ボール体操

平成18年「シルバー全国経験交流大会」のアトラクションで、広島県府中町シルバー人材センターの松尾理事長の指導により、会場の皆さんがボール体操を経験しました。

ボール（バルーン）に半分の空気を入れて100kgの体重の人が乗っても耐えるように出来ています。

それがきっかけになって、府中町と交流が始まり、天野所長（鶴川事務所）指導のもとに元気アップボール体操が発足しました。

池田正保会員は介護予防運動指導者の資格をとり、地域に貢献しています。





全員によるボール体操

第3部 お楽しみ抽選会

特等	1本
1等	3本
2等	5本
3等	10本
飛等	15本

※いずれも防災グッズ



会長から賞品を受け取る。



町田市長 石阪 丈一
東京しごと財団理事長 宮下 茂
町田市シルバー人材センター会長

司会 同常務理事 真角喜久子
矢内 邦夫
(敬称略)

司会 はじめに市長から市政の重点や高齢者の施策についてお話を伺いたいと思います。

丁寧な対応が特徴

石阪 高齢者の安心・安全は高齢社会の中で注目されており、これを第一の柱にたっています。次に「生き甲斐」が重要点と思っています。それから、健康づくりを目指してスポーツを広く行うことも重点としています。

司会 では会長より、シルバー人材セン



ターについてお聞かせください。

真角 昭和54年度末の発足当時は会員数が894名で、契約金額も90万円でした。それが、今は会員数が3,500人を越え、契約金額も10億4,000万円ぐらいに拡大しています。

それは市をはじめ関係企業や市民の皆様のお蔭と感謝しています。

私は今、会の健全な経営と会員が健康であることに幸福を感じています。毎年の健康調査の結果、一般の高齢者と比較して会員一人あたり6万円の医療費が削減されていることです。

これからも一人でも多くの高齢の方が、生涯現役ということで生き甲斐を持って仕事をし、シルバー人材センターの会員でよかったということを感じていただけるよう努力していかなければいけないと思っています。

司会 市長、いかがでしょうか。

石阪 丁寧な対応で市民生活に必要な仕事をやっていただいていると思ってい

町田シルバー人材センターの特徴

司会 理事長、町田市のシルバー人材センターの活動の特徴はどうでしょうか。

宮下 町田市シルバー人材センターの特徴は、先ほど会員数が3,500人を越えたとの話がありました。実は都内のシルバー人材センターの中でも会員数が3,000人を越えているのは7団体あります。多摩地区では3,000人を越えているのは町田市だけです。2番目の市も2,000人の前半くらいで、他は1,000人台となります。そういう意味では町田市は会員数が断然多いシルバー人材センターなのです。契約金額も就業率も東京都全体では落ちている中で、町田市のシルバー人材センターでは若干増えています。就業率では平成20年度が76.8%、同21年度が80.3%ということで、3.5ポイント増えており、これは大変なご努力の結果ではないかと評価させていただいています。

また、来年の4月1日から多くのシルバー人材センターが公益法人になり、高齢者の方が地域社会に貢献していくことが求められています。町田市のシルバー人材センターは既に地域と密着した活動として、地元サッカーチーム「ゼルビア」へのボランティア活動を行っていると聞いております。それらはどういう経過で今に至ったのか大変興味があります。

真角 町田市には唯一のサッカーチーム「ゼルビア」があり、そこで会員が仕事をしていたことが縁となりました。ゼルビアの若い人の力で私たち高齢者に活気を与えてもらい、また私たちの方

ます。会員には、例えば各戸を一軒ずつ行かなければならない業務、例えば高齢者へのゴミ袋の配付などが一番向いている気がいたします。丁寧で、今までの経験や技能などを生かして市民の方とのコミュニケーションを大切にしながらの仕事が、お金には換えられない働く喜びなど、市民の方にしてみれば、町田市のシルバー人材センターの方だからという大きな安心感があるのではないかと思います。

司会 日頃からいろいろご指導いただいている東京しごと財団の理事長より、東京都全体の状況をお聞かせいただければと思います。

宮下 今年度30周年を迎えられ、おめでとうございます。東京都全体のシルバー人材センターの現状を会員数でいいますと、



平成20年度は81,300人、同21年度は85,800人と4,500人ほど増えております。率にすると5.5%ほどになります。計算では60歳以上の人口の2.5%ぐらいの方が、会員になっておられるということで、この数字からみて、60歳人口の全体に占める割合が、増えていると思っております。それから契約金額は、平成20年度が全体で333億2,000万円、それが同21年度は331億7,000万円と約1億5,000万円少なくなっています。これは景気が悪くなっている中、会員数が増えているが契約金額は減っているということで、就業率が落ちてきていると考えられます。

でもボランティアとして応援できたらということで提携を結びました。今まで何回か若い選手の方に試合のことについて説明をしていただいたりして、楽しく交流させて頂いております。

司会 市長、スポーツ振興についてお願いします。

石阪 スポーツ振興には3つありまして、1つはスポーツ人口を増やそうということです。次に健康づくりですね。みんなが健康であることは結果的に医療費がかからなく、それにはスポーツがすごく意味があると思います。3つ目はスポーツをやる人が増え、また見に来る人も増えれば経済効果があるということです。実はさらに4つ目があって、スポーツにより地域が1つになるという連帯効果があるんですね。

女性会長としての抱負

司会 話題は変わりますが、当センターは平成22年度から3か年の第3次中期計画を立てました。これから実行していく訳ですが、女性会長として男性とは違った視点があればお聞かせください。

真角 女性会長は、区に1人、市に2人、神津島で1人の合計4人なんです。今女性会員は3分の1弱です。今までは女性会員の多くは家事援助に就業していました。ところが介護保険制度ができて、就業の場が減りまして、何とかしなければいけないだろうということで、女性の活躍できる場を作ろうと思いました。中期計画の中で、例えば学校支援で子どもに英語や国語の補習とか、お話教室や戦争体験の話をし

たり、そういうボランティアをやりたいのです。さらに仕事につなげるには、例えば衣服のリサイクル、リフォームです。ス



カーフや湯上がりタオルなどを利用して、高齢者に向くような衣類を作ったり、一緒に買い物に付き添ったり、雨戸の開け閉めをしながら日常の様子も見てもらえる。チョコットサービスができればいいと思います。また、趣味の茶道だとか、着付けなどの出張教室みたいなものもできるのではないかといろいろな計画をしているわけです。

司会 市長、市の事業計画の中で、シルバー人材センターでこんなことができないかとかがありましたらお伺いします。

石阪 今ボランティアという話がありましたが、町田市の場合は学校支援ボランティアでは東京都の中でも頑張っている方だと思います。それにシルバー人材センターのボランティア活動は、間接的に配分金につながる仕事をいただく機会にも繋がってきます。ボランティア活動でこういう人たちがいると知ってもらえることはお金になる仕事に繋がり、ボランティア活動が逆にプラスになると見えています。公益という一種の信用性と実際に無償で働いてもらっているという信頼感が実際の受注にも繋がるというふうに私は前向きに受けとめています。

真角 私たちの方も、仕事に行くときにはのぼり旗を持って行こうとか、揃い

の服を着ていこうとか、なにしろシルバー人材センターというものを皆さんに知ってもらわないと、仕事の受注が来ないのではないかということも考えています。「夢舞シルバー100」という踊りチームが40人ぐらいおりますが、その人たちも各イベントに無償で、自分たちの手作り衣装で参加したり、また広報の人たちはピラを持って行って配るなど、シルバー人材センターというものをまず知ってもらおうとしています。

司会 理事長、先ほど中期計画でこんな仕事をやってみたいということがありましたが、そういう事業に対して財団の側面的な援助はいかがでしょうか。

宮下 国や東京都の補助金がありますので、その活用を検討していただければと思います。リサイクル事業でも仕入れの問題をどうするかなど、町田市の協力をいただかないとなかなか難しい面もあるかと思うので、よろしくお願いたします。

司会 時間もなくなってきましたので、市長、理事長、シルバー人材センターに今後期待されるものを聞かせていただきたいと思います。



今後に期待すること

石阪 シルバー人材センターの皆さんは経験を生かして地域のまとまりみたいなものを支えていく、例えば高齢者の見守りでも何でもよろしいですが、そういった活動で、活躍できるのではな

いかなと思っています。それから先ほどから出ているボランティア活動が拡大していくことを期待しています。

司会 理事長、お願いします。

宮下 高齢社会で高齢者の方が働くことの意味ですが、今まで培ってきた知識や経験を生かし、それを地域に貢献していくことだと思います。今後団塊の世代の方々が退職されてシルバー人材センターの会員として入ってこられることを期待いたします。

地域によっては高齢者社会の影響が前から出ています。若い層が人口流入していて、町田市はまだ若い都市という感じがしています。しかしその人たちが年をとって都会の高齢化が始まる時に、シルバー人材センターの皆さんが核となって地域に貢献するという役割を果たすことが期待される場所です。そのためにはやはり行政である町田市との連携が必要だと思います。

司会 会長、よろしくお願いたします。

真角 当センターにもこれから団塊の世代の方々が入ってくると思われませんが、そういう人たちと私たちとで意識の違いがあると思います。これからやっていくには私たちも意識改革からしていかなければいけないのではないかと考えています。後継者を育てていく上で、常識やマナーの指導も課せられた課題かと思っています。

司会 ありがとうございます。地域に愛されるシルバー人材センターを目指して頑張っていきたいと思います。本日はお忙しいところ貴重なご意見を伺うことができたことに深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

●昭和55年（1980）

- 3・6 町田市高齢者事業団設立総会
10・25 市民ホールにて社団法人設立総会、12・1 都認可

●昭和56年（1981）

- 1・16 会報名「銀齡だより」と決定、第1号発行
10・1 家事援助事業開始

●昭和57年（1982）

- 6・9 全国シルバー人材センター協議会設立、交流大会に参加

●昭和59年（1984）

- 7・3 設立5周年記念行事

●昭和61年（1986）

- 11・9 第1回「室内レクリエーション」開催

●平成元年（1989）

- 6・1 牛乳パック再利用事業開始

●平成2年（1990）

- 6・23 設立10周年記念式典
7・2 社団法人 町田市シルバー人材センターに名称変更、東京都知事認可

●平成5年（1993）

- 9・4 鶴川連絡所（鶴川さるびあ会館）開所
11・1 事務所を森野1丁目1-15（わくわくプラザ町田）に移転

●平成7年（1995）

- 1・11～ 「襖・障子張り」「俳句」「デイサービス」「実用書技」「家庭介護セミナー」
8・27～ 広報活動「パレード」「わいわい祭り」
9・28 定期総会（市民ホール） 11・4 室内レクリエーション（市総合体育館）

●平成8年（1996）

- 3・1 定期総会、9・27 定期総会（市民ホール）
3・9～ 広報活動「小山センターまつり」「さくら祭り」「ワイワイまつり」
4・13 健康ハイキング（薬師池～野津田公園） 11・16 室内レクリエーション（総体）
8・1～ シルバーカレッジ：「襖」「垣根作り」「俳句教室」「着付教室」「料理教室」

●平成9年（1997）

- 1・10～ シルバーカレッジ：「油絵教室」「英会話」「小物づくり」「将棋教室」
3・8～ 広報活動「小山センターまつり」「さくら祭り」「ワイワイまつり」ほか
3・13 定期総会、9・26 定期総会（市民ホール）
11・1 室内レク（成瀬体育館）

●平成10年（1998）

- 4・4～ 広報活動「町田さくら祭り」「わいわい祭り」「栄通りパレード」ほか

- 4・15 会員のつどい始まる 9・25 定期総会（市民ホール）
 6・2～ シルバーカレッジ「水彩画」「オカリナ」「手すき紙」「水墨画」「パソコン」
 11・7 会員と家族の室内レクリエーション（成瀬体育館） 11・21 健康ハイキング

●平成11年（1999）

- 3・2 定期総会、9・28 定期総会（市民ホール）
 9・5～ 広報活動「栄通りパレード」「国際高齢者フェア」
 10・16 室内レクリエーション（成瀬体育館） 10・30 健康ハイキング（こどもの国）

●平成12年（2000）

- 3・3 定期総会、9・28 定期総会（市民ホール）
 4・2～ 広報活動「さくら祭り」「生ッスイ祭り」「栄通りフェスタ」「フェスタ町田」他
 7・22 **設立20周年記念式典（市民ホール）、9・7「設立20周年記念誌銀飾」発行**
 10・1 **会員共助会設立、10・21 第12回室内レクリエーション（サン町田旭体育館）**

●平成13年（2001）

- 3・2 定期総会、9・28 定期総会（市民ホール）
 3・10～ 広報活動「さくら祭り」「ひなた村祭り」「ワイワイ祭り」「町田ごみフェスタ」他
 4・2 刃物研ぎ、受託事業へ 5・21 公園除草 5・末 エアコン洗浄事業開始
 6・24 都議会議員選挙、7・29 参議院議員選挙開票作業
 10・20 第13回室内レクリエーション（サン町田旭体育館） 11・17 健康ハイキング

●平成14年（2002）

- 3・24 町田市長選挙投開票作業（今回から投票事務にも多数就業）
 3・1 定期総会、5・31 定期総会（市民ホール） 4月～常務理事、二人副会長制
 5・6～ 広報活動「ひなた村祭り」「原宿元気祭り」「フェスタ町田」「ごみフェスタ」他
 9・23 第14回室内レクリエーション（サン町田旭体育館）
 11・23 さるびあ会館（鶴川連絡所）10周年記念祭

●平成15年（2003）

- 3・6 定期総会、5・30 定期総会（市民ホール）
 4・5～ 広報活動「桜まつり」「栄通りパレード」「シルバーフェア」他
 7・14 境川仮作業所から緑ヶ丘作業所移転（公園除草、換作業等）
 10・18 第15回室内レクリエーション（サン町田旭体育館）
 11・9 衆議院議員選挙、投開票事務 11・25 フェアエイト（ぼっぼ町田で開催）

●平成16年（2004）

- 3・4 定期総会、5・28 定期総会（市民ホール）
 6・一 NHK-TV 町田の公営葬祭事業を放映 全国的反響多し
 7・11 参議院議員選挙投開票作業
 7・18～ 広報活動「子供も大人も遊びも町田展」「原宿元気祭り」「フェアエイト」他
 10・3 第16回室内レクリエーション（サン町田旭体育館） 10・23 健康ハイキング
 11・6 「セーフティボックス」民間交番開所、センター会員が就業

●平成17年(2005)

- 1・18 安全巡回 2・2 会員のつどい、
3・4 定期総会 中期計画策定、5・30 定期総会(市民ホール)
3・5 広報活動「小山市民センターまつり」、7・17「函師熊野神社」、
8・27「原宿よさこい祭り」、9・4「栄通りパレード」、
9・17「町田フェスタ」、「山崎団地まつり」、11・26「ごみフェスタ」
4-「市民に愛されて25周年 銀齢」発行
- 7・3 都議会議員選挙開票業務 * 4・25 JR福知山線脱線事故
9・16 シルバー人材センター実践フォーラム * 7・26 野口聡一さん宇宙へ
10・8 健康ハイキング * 10・26 普天間移設日米合意
12・8 安全パトロール(財団来訪)

●平成18年(2006)

- 1・13 一般研修(換)、1・16(営繕左官)、2・15-16-23(運転送迎)、
1・20 安全巡回 2・2 会員のつどい、
2・26 町田市議市長選挙開票業務 * 1・20 米国産牛肉BSE問題
3・2 定期総会、5・29 定期総会(市民ホール) * 7・5 北鮮テポドン発射
4・9 広報活動「桜まつり」、4・29「小田急屋上」、8・26「原宿よさこい」、
9・3「栄通りパレード」、9・16「フェスタ町田」、9・23「小田急屋上」、
10・1「ごみフェスタ」、10・7「健康づくりフェア」、10・21「山崎団地祭り」
5・19 除草安全研修会、6・14 植木安全研修、7・14 安全リーダー研修、
8・16 安全管理委員会、11・14-15-21-26 学校管理グループ研修
9・14 公園除草事務局開設 * 9・26 安倍内閣
12・15 年忘れお楽しみ会 * 10・9 北鮮核実験

●平成19年(2007)

- 1・17 安全巡回 2・2 会員のつどい、
3・6 定期総会、5・28 定期総会(市民ホール)
3・25 広報活動「鶴川団地祭り」、4・7「桜まつり」、4・28「小田急屋上」、
8・18「森野わくわくまつり」、9・9「栄通りパレード」、
9・29「健康づくりフェア」、10・7「ゴミフェスタ」、
4・8 都知事・都議会議員補欠選挙開票作業 7・29 参議院議員選挙開票作業
10・5 講演会「長寿のための心身健康づくり」
10・28 健康ハイキング「七国山と薬師池コース」 * 3・6 スマトラ島中部地震
12・5～ 全会員研修会 * 8・16 ペルー沖地震
12・20 会員と家族のお楽しみ会 * 9・26 福田内閣

●平成20年(2008)

- 1・16 安全巡回 2・11 会員のつどい、
3・1 広報活動「小山市民センターまつり」、3・29「芹が谷公園さくらまつり」、

- 3・12 高齢者のための交通事故を無くそう講習会
 - 3・19 定期総会、5・18 定期総会（市民ホール）
 - 6・1 ゴミ袋配付開始
 - 10・26 健康ハイキング（三輪）
 - 11・20 講演会「私たち高齢者が生きていくために」
 - 12・24 会員と家族のお楽しみ会
- * 1・30 中国餃子殺虫剤混入事件
 - * 5・12 中国四川大地震
 - * 8・8 北京五輪開幕
 - * 9・15 リーマンブラザーズ破産
 - * 9・24 麻生内閣

●平成21年（2009）

- 1・5 ホームページリニューアル <http://machida-sjc.com>
 - 1・14 会員のつどい 1・21 安全巡回、
 - 3・22 広報活動「鶴川団地」、3・29「芹ヶ谷公園」、5・3「ぼっぼ町田」、
 - 8・1 「境川団地盆踊り」、9・6「栄通りパレード」、9・13「境川団地敬老会」、
 - 10・4 「ごみフェスタ」、10・11「相原フェスタ」、11・20「フェアエイト」
 - 3・30 定期総会、5・29 定期総会（市民ホール）
 - 4・ー **会費自動引き落とし制度開始**
 - 5・ー 「認知症サポート養成講座」業務開始
 - 6・25 FC町田ゼルビアと連携に関する包括協定
 - 7・ー 子ども遊び場見守り事業開始
 - 7・12 都議会議員選挙開票作業
 - 8・30 衆議院議員選挙開票作業
 - 10・18 健康ハイキング（三輪）
 - 11・26 交通安全講習会
 - 12・14 会員と家族のお楽しみ会
- * 1・20 オバマ米大統領に就任
 - * 4・24 新型インフルエンザ確認
 - * 8・30 民主党第1党に躍進
 - * 9・7 尖閣列島問題
 - * 9・16 鳩山内閣

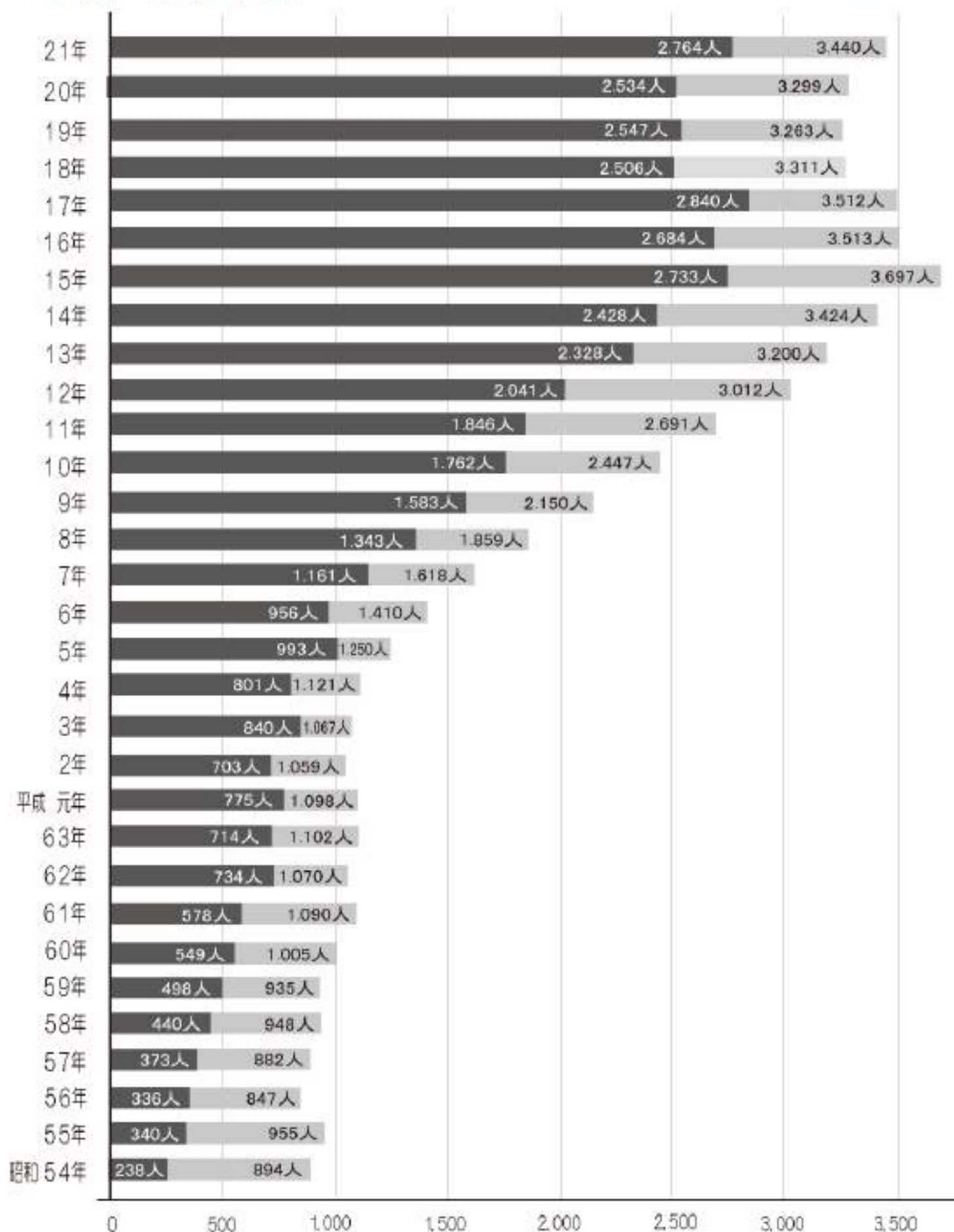
●平成22年（2010）

- 1・13 安全巡回 2・2 会員のつどい、
 - 1・22 転倒予防講習会 5・ー「安全フォーラム」第1号発行
 - 2・21 市長・市議会議員選挙開票作業
 - 3・21 広報活動「鶴川団地」、3・28「恩田川さくらまつり」、3・21「境川団地盆踊り」、
 - 9・25 「小田急」、9・30「フォーラム」、10・3「ごみフェスタ」
 - 10・22「元気力測定」、10・23「山崎団地まつり」、10・28「フェアエイト」、
 - 11・14「町田生ッスイ祭り」
 - 3・24 定期総会 3カ年中期計画策定
 - 4・1～ 昼休みの窓口オープン、リサイクル・子育て支援事業開始
 - 5・27 **定期総会（市民ホール）：定款変更「社団法人→公益社団法人」**
 - 7・11 参議院議員選挙開票作業
 - 10・11 駅周辺ボランティア活動（美化清掃）
 - 10・16 **臨時総会・設立30周年記念式典（市民ホール）**
 - 10・24 健康ハイキング（尾根緑道と小山田緑地コース）
 - 11・12 共助会設立10周年記念式典（市民フォーラム）
- * 2・12 バンクーバー五輪開幕
 - * 4・20 口蹄疫発生（宮崎～8・27）
 - * 5・1 上海万博開幕
 - * 6・8 菅内閣
 - * 6・13 はやぶさ帰還
 - * 7・11 参院選 民主党大敗

会員数・就業実人数


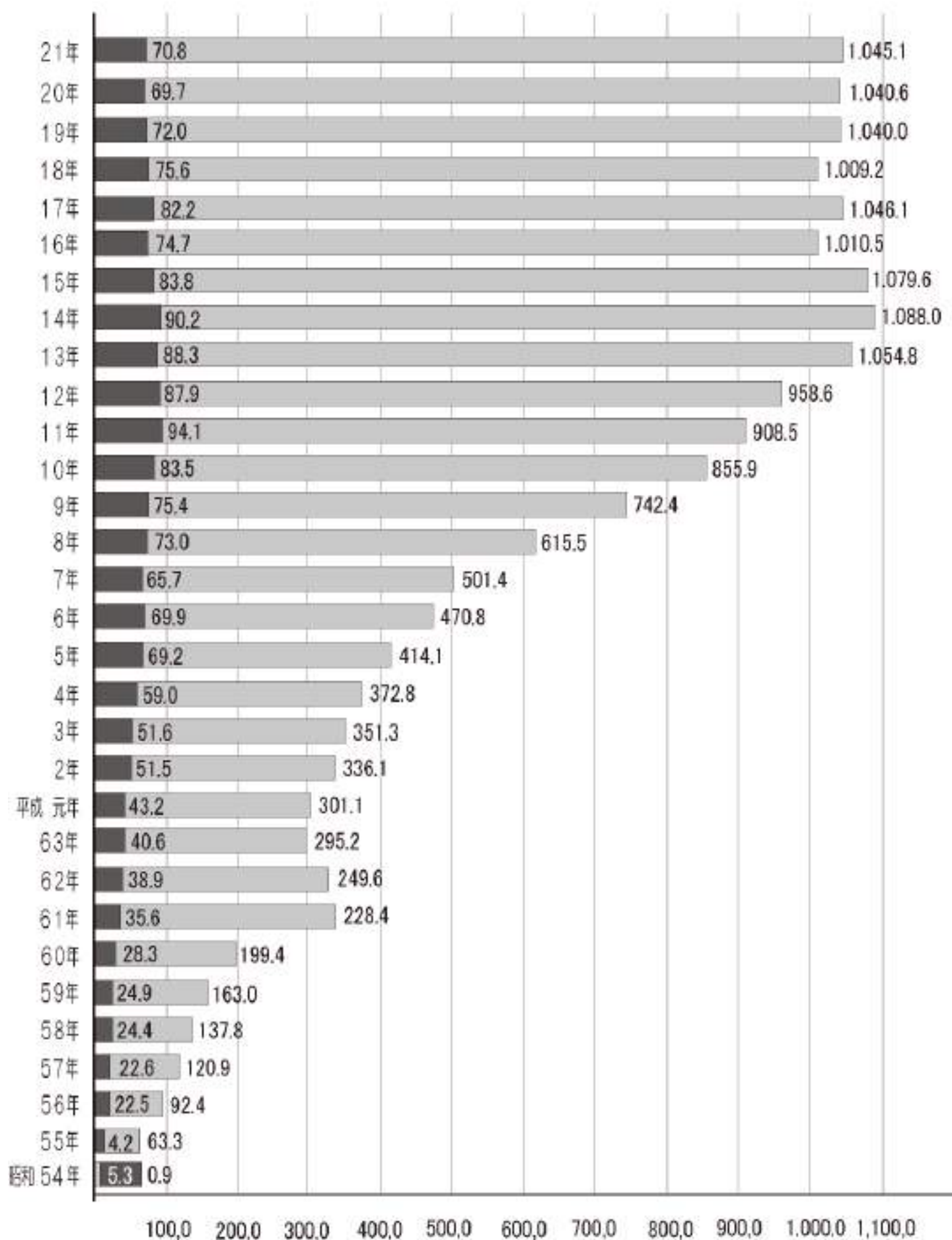
□ 会員数 (人)

■ 就業実人数 (人)



契約高と補助金の推移

 契約高 (百万円)

 補助金 (百万円)


心穏やかに、感謝の気持ちで

宍戸勝佳（真光寺町一平成13年入会）



小生は、シルバー人材センターの除草班に軽い気持ちで入会しました。入会当初は慣れない作業に苦労もありました。そんな小生の

チョッピリ恥ずかしく、心温まる思い出は、民家のやや傾斜のある庭で、植木班と同時作業のことでした。作業終了間際に突然の降雨・・・袋詰めや運搬に足を滑らせ悪戦苦闘でした。その時の植木班班長のさりげない新米の小生への手助け・・・今は亡き菅原先輩の懐かしい思い出です。

また、戸惑う作業に自暴自棄になったりもしましたが、そんな時「少し頑張り我慢せよ・・・仲間と素敵な出会いあるかもよ？」との諭しでした。以来7年、今ではお互いの思いを語り合える多くの仲間にも恵まれました。作業は少し苦しいときもありますが、仲間と一緒に頑張っ「綺麗にさせていただきありがとうございます」と、お客様にお褒めのお言葉を頂いたときには、少し心豊かになります。

地域社会に何か役に立ちたいと思い、日々草取りに励んでいます。年々衰えていく自身の健康管理を兼ねて、高齢者お邪魔虫にならずに、前向きにやっていきたいと考えております。末筆ではございますが、日頃いろいろとお世話くださるセンター事務局の皆様方、また作業で手助けをお願いする会員の仲間へ心より感謝いたし、御礼を申し上げる次第です。

講習会の事務方として

白鳥速夫（金森一平成17年入会）



シルバー人材センターとの出会いは、シニアボランティアを探すためにインターネットで検索していて発見した賜物です。早速、

会員登録をお願いし、事務局より就業の声を掛けて頂きました。

私は現役時代にパソコンを使用していたとはいえ、根からの事務屋ではないので、一瞬躊躇しましたが、勇気を持って受けることにしたのが実状です。現在「パソコン業務推進グループ」の事務方として業務に従事させて頂いております。

パソコン事業は、12年の歴史があると聞いておりますが、私の職務としては町田市高齢者福祉課から受託している認知症予防・介護予防・閉じこもり防止等を目的とした高齢者パソコン講習会、市民講座、男性料理教室、わくわく講座等各種講習会の応募者の受付、抽選、当落通知文書の作成、講習会用の資料の準備及び講習終了報告書の作成といった事務作業が中心です。

当初、事務局次長より、抽選等含めて業務は公正中立に行うこと、現金の扱いに注意すること、電話の対応や接遇に注意すること、また個人情報の扱いには十二分に留意するよう助言を頂いたことは今も肝に銘じております。私は就業の機会を与えて頂いたことに心より感謝致しますと共に、この30周年を機に益々のご発展をお祈りいたします。

学校管理の思いで

藤田 清 (相原町一平成5年入会)



平成5年6月より大戸小・武蔵岡中の2校に勤務して、未だに働いております。はじめは心配でしたが、職員皆様の笑顔や生徒の元

気な挨拶で私も元気が出ました。

平成9年9月から相原小も管理することになり3校の勤務となりました。今まで3名で仕事をしていましたが、3校になるので、3名の管理員を加えて6名としました。1周すると6週間かかるので、学校職員から管理員の顔が覚えにくいとの声が上がりました。困りまして、8年勤めた大戸小・武蔵岡中とは平成13年6月に別れ、現在私は相原小のみに勤務しています。

毎年年度変わりには職員の転出・転入・退職・新規採用の出入りがありいろいろと大変です。相原小では校長・副校長が一度に変わることがありました。それも2回続けてあり、新しい校長・副校長は、学校内や周辺町会のことわからないので、たびたび相談を受けました。

転出された学校職員や校長・副校長から「管理員の皆さんがいるので安心して転出できます。お世話になりました。」とのお手紙をいただくことがあります。そういうときは、先生のお気持ちがうれしくてたまりません。

私が元気で働けるのもシルバーの皆様方のお蔭と思っています。これからも末永くよろしく願います。

シルバー業務10年で思うこと

島 功 (木曾東一平成13年入会)



希望職種を提出して見たものの、就業はなく、何でもOKで受けたのが、家事援助の仕事でした。相手は80歳以上で、体力的にや

るのが苦痛なところを補うことでした。

風呂・トイレ・台所の掃除、それも年に1回か2回でした。始めはその汚れに戸惑っていましたが、引き受けた以上はやることにして、現在までできました。仕事がきれいに終了した時、相手の喜びように、やみつきとなるような幸せを知りました。

その後、50歳代の方から「仕事が多忙なため」ということで家の中の掃除を依頼されたのも驚きです。

その他に不規則な仕事ながら、カタログ・パンフレットの各家庭へ配付の業務があり、それが健康に大変役立つ(減量)ことを知りました。

また自治会で行事があるとき、近所の状況が把握できているため、何がどこにあるかの確に指示ができるようになったこともうれしい限りです。

もう1つうれしいことは、町田市内の全体図を把握できたことです。町田広報を配達するとき、大学の所在地、郵便局の出先位置、市の支所・各公園の位置もわかるようになりました。

シルバー在籍10年の実績でした。

団地の屋外清掃を通して

細井 欣次（忠生一平成18年入会）



今の仕事は、団地の屋外清掃です。

先輩のK氏に仕事の範囲を案内されました。その地域を歩き始めてまず「ハッ」としたのが、K氏の行動でした。ゴミなどまった

くない団地内の歩道に、10円玉ほどの丸い落ち葉が1つ落ちていました。K氏はそれを見つけると、すばやくそれを拾ったことでした。私がこれからする仕事とは、「こんな小さな落ち葉をも見逃さないで掃除をするのか」と改めて感じたものでした。外を掃除することなどしたことがなかった私は、改めて覚悟をしなければと思いました。

団地住民の奥さんから、「ちょっとこちらへ来てみてください」と手招きされました。行ってみるとこちらからは見えない位置に、溝（U字溝）があり、それには植え込みから入り込んだ土や落ち葉がたまっておりました。「これでは、雨が降ったら詰まってしまいます」。K氏にたずねると、それ以外にも2か所ほどあり、そうしたところは、月に2度ほど溝掃除をしていたようでした。

住民の方々からも教えられながら、竹ぼうきを相手に、チークダンスを踊っている気分で頑張っております。月末になると、日報に管理事務所の承認印をもらい、シルバー人材センターに提出いたします。こんな身体を動かす仕事はいい運動になると思い頑張っております。

おはやし連で活躍

熊谷 ハズ子（山崎町一平成7年入会）



シルバーに入ったのは、平成7年1月です。

会社内の除草がはじめての就業先でした。その後学校内のお掃除に移りました。

学校では、私が掃除していると生徒さんが「おばさん頑張って」と声をかけてくれました。うれしいですね！それが今日まで続いています。

また、夢舞シルバー100に入り、原宿のよさこい祭りに参加し、表参道の舞台、原宿の道路で踊りました。

同好会には、踊りのひまわり会・おはやし連に入っています。おはやし連は、笛・太鼓・かね・獅子・おかめ ひょっとこを各人がおぼえて、シルバーおはやし連となっていて、私はおかめの面をつけて踊ります。

この仲間でボランティアとして、市内数ヶ所の老人センター・病院・幼稚園・傷病者の施設に行き踊ってきます。皆さんがニコニコ顔で見てくださり幸せです。

88歳の今日まで続いています。同好会の方が米寿のお祝いまでしていただきました。その時、真角会長が「男はつらいよ」の寅さんを演じられたことが忘れられません。

15年たった今でも就業していてボランティアにも参加できること、仲間の方に感謝感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

仕事に感謝

井島 誠 (本町田一平成 21 年入会)



シルバー人材センターにお世話になる前、サラリーマン一筋50年を生きてきた。当時、上司から教わった言葉を忘れず、大切に今も実践している。

それは、「挨拶をしよう」「感謝の気持ちを持とう」「嘘をつかない」という「三つのお願い」という言葉だ。ことし、4月に学校管理員として就業させていただいている中学校の「たより」に校長がまさに、あいさつの大切さを述べていた。あいさつは人と人をつなぐコミュニケーションの出入口、あいさつができない人は周囲から認められない。「挨拶とは心を開いて相手に近づいていくこと」「ありがとうの感謝の言葉は日本一美しい言葉」「嘘は次の嘘を作り出し我身を滅す」。

今、自らの人生訓として、この「三つのお願い」の実践と、学校管理員の仕事に出会えたことへの「感謝の気持ち」を持ち続け、この先も現役続行で励んでいきたいと思っている。シルバー人材センターの会員となって始まった町田市のサッカーチーム「ゼルビア」のボランティアも初めての経験のなかで、新たな人々との出会いがあり、少々の冒険心も伴って結構楽しくやらせてもらっている。

生き甲斐のある仕事に出会えた

龍 秀毅 (山崎町一平成 21 年入会)



本年4月から、シルバー人材センターリサイクル部で家具等のリサイクル作業についております。家庭で不要となって回収され、また持ち込まれた家具等を修復・再生して

販売する仕事です。

私は2年前に会社を退職しましたが、在職中にはホームセンターなどで販売されているテーブル、接着材などの補修用製品の技術サービスを担当していたこともあり、日頃DIYに親しんでおりました。このような経験が何かに役立つことがあればと思っていたところ、シルバー人材センターからリサイクル作業への誘いを受け、喜んで参加させて頂いた次第です。

当初は、作業内容に様々なケースがあるため、修復に手間取ることもありましたが、互いに知恵を出し合って技の習得に努め、現在ではできばえも良く、ご来店される皆様から大変ご好評を頂いております。

自分の経験が生かされ、また環境・エコにつながる仕事に携われることに感謝し、生き甲斐を持って仕事に取り組んでいます。これからも皆様にご満足頂けるよう、より一層努力していきたいと思っております。

会場には家具・調度品のほか、食器など生活用品も展示しております。皆様にも是非一度、展示会場へお越し頂きますようお願いしております。



毎年、3月と5月に開かれる総会



毎月、最終月曜日に開かれる理事会

組織 10月15日現在の会員数は、3540名です。入会資格は、町田市の在住者で、健康で働く意欲をもった60歳以上の方です。

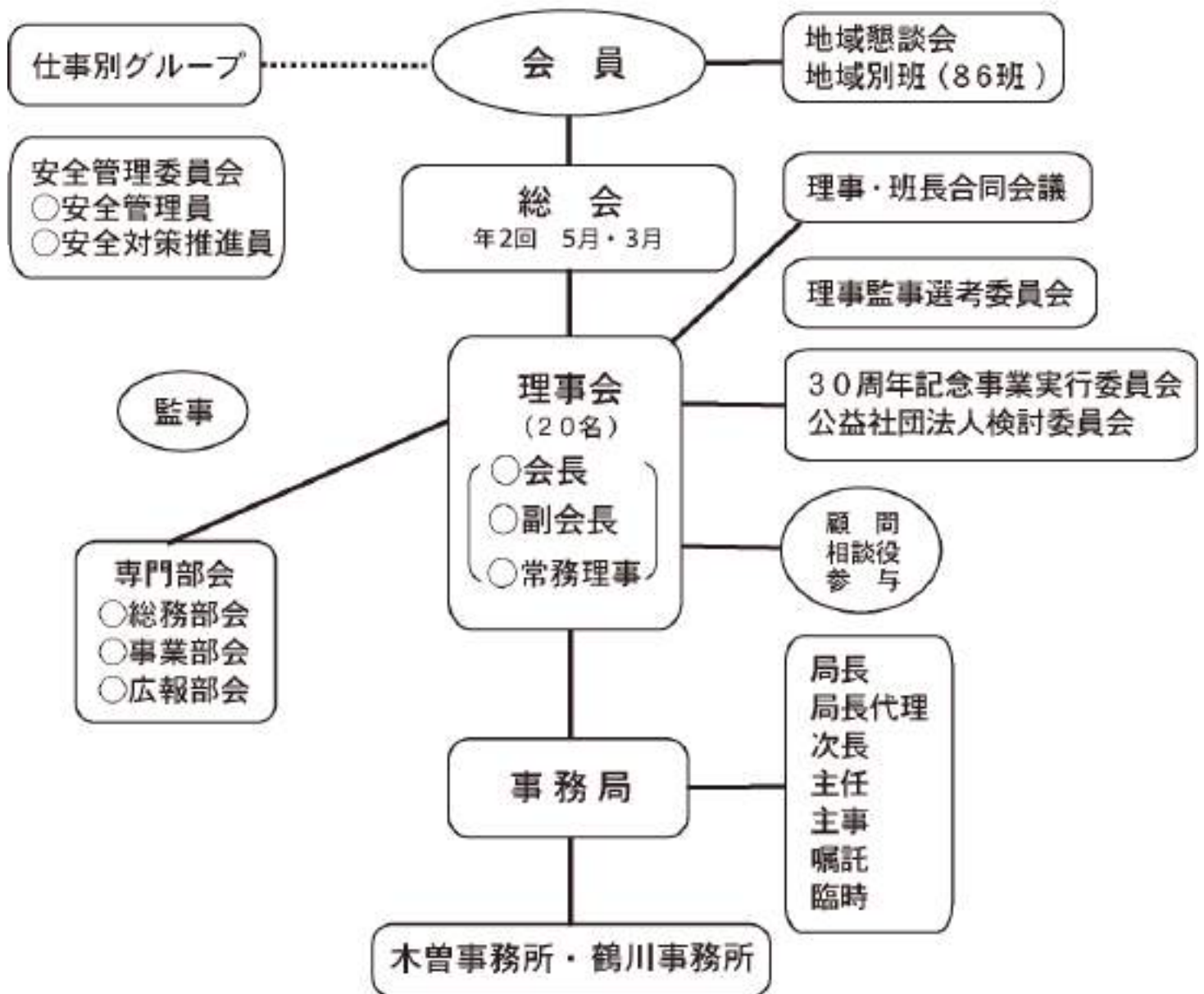
総会 2回、3月と5月に開催されます。3月の総会は、次年度の事業計画案や収支予算について審議されます。5月の総会は、前年度の事業活動報告、収支決算について審議されます。また、理事、監事の選任は、3月の総会で審議されます。

理事会 毎月最終月曜日の理事会では、入会者や退会者の承認、事業の執行計画、中長期の計画を定めたり、現在の規定などを審議しています。

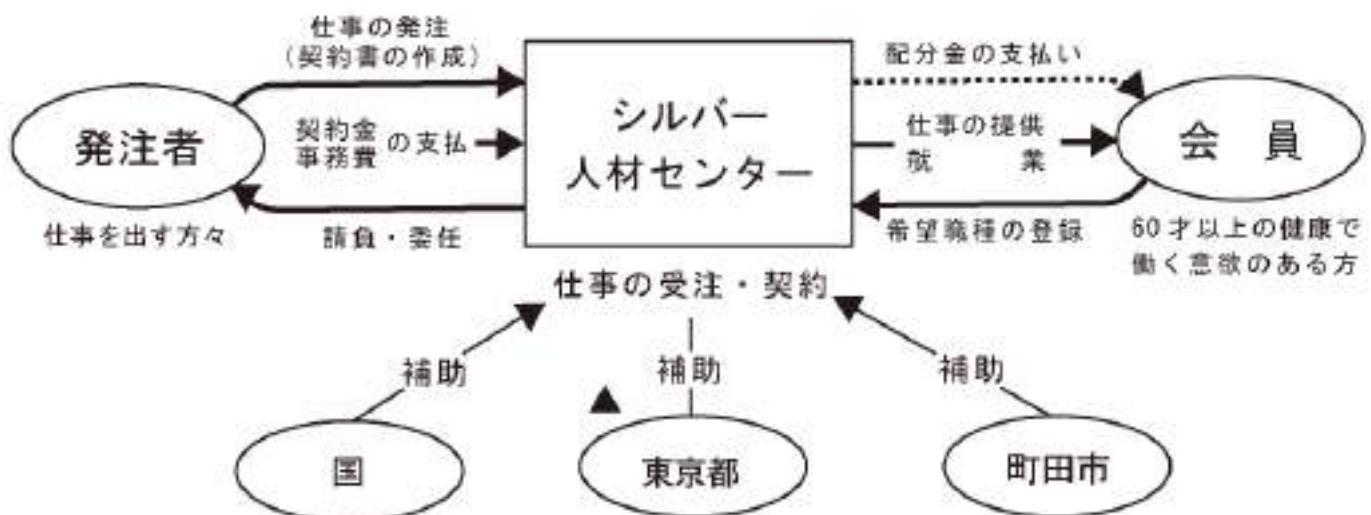
理事会には、総務部会、事業部会、広報部会があります。

事務局 窓口での対応、入会説明、新しい仕事の開拓、研修会の開催、発注者との契約事務手続き、支払事務、請求事務、安全対策、関係機関や省庁への報告事務などを行っています。職員は正職員7名、嘱託職員1名、臨時職員が9名の17名です。（平成22年11月現在）

平成22年度 社団法人 町田市シルバー人材センター組織図



就業のしくみ



シルバー人材センターの概念

事業理念

シルバー人材センター事業は、昭和49年6月に『東京都高齢者事業団』として発足しました。定年退職者の高齢者が再び働くことによって社会参加するという世界に類を見ない高齢者の就業システムが誕生しました。

この事業の基本的な柱は『自主性・主体的組織理念』と『共働・共助の事業理念』の2つから成り立っています。

また事業の性格は『公共的・公益的』『自主的・主体的』『共働・共助』です。

町田市シルバー人材センターは、このようなもとの組織・事業運営を行っています。



町田市シルバー人材センター
(わくわくプラザ)



理事・班長合同会議



地域懇談会

公共のための活動



選挙の開票



市からの委託のゴミ袋配付



「まちとも」子どもの見守り



民間交番



葬祭事業

シルバーカレッジの講師



絵手紙とめり絵講座



水彩画講座



発声練習講座



筆文字を楽しむ講座

屋内での仕事



シルバーパスの交付業



洗車



家具のリサイクル



ダイレクトメール等のラベル貼り



受付業務

屋外での仕事



駐輪場の管理



街路の除草



「桜まつり」でのゴミの収集



喫煙所の清掃



公園の除草



樹木の剪定



エアコンの洗浄



障子・襖貼り



刃物研ぎ



パソコンの講習



データ入力



町田駅でバス案内板の清掃。

町田市シルバー人材センターは、設立30周年を記念して、美化清掃ボランティア活動を実施しました。

当初は10月10日(日)に実施する予定でしたが、あいにく雨のため、10月11日(月)に延期しました。

午前9時から11時30分まで、町田・鶴川・成瀬 各駅周辺を3地区6コースに分けて行われ、112名の会員が参加しました。バス、タクシーの乗降案内板や市の公共サイン表示板、道路標識など約410ヶ所の美化清掃が行われました。



町田地区では85名の会員が4コースに分かれて活動しました。白のジャンパーは安全管理員。



(成瀬駅前)
地域案内図の清掃



(鶴川駅周辺)
小さな公園の案内板
を水洗い。



(町田駅周辺)
バス停留所の汚れが目立った。

9 求められる地域への貢献

平成23年度、町田市シルバー人材センターは新しく生まれかわり、公益社団法人になります。公益社団法人では、今まで以上に地域貢献が求められます。

自分のために働くばかりではなく、社会のために働くボランティア活動が求められます。どれだけ社会貢献をしたかが問われるのです。

新しい活動として、教育ボランティア、福祉ボランティアなどの社会貢献型ボランティア活動が創出されます。



町田FCゼルビアの競技場で
ボランティア



学校支援活動の
パソコン教室と話し方教室



認知症予防の講演会で寸劇





地域の人に「紙漉き」の講習



▼ 広報活動「夢舞シルバー100」▶





安全管理委員会

働く皆さんの中には、少々血圧が高いのだが、腰痛があるけれども、といいながら就業されている方の話もときどき聞くことがあります。しかしながら、「安全」と「健康」に関して、皆さんはどのように対処していますか？

「安全と健康」は切り離して考えることではなく、就業に関しても欠かせない一体であると考えます。皆さんはそれぞれに異なった考え方をお持ちになっていると思いますが、「就業規約」・「会員の就業要領」・「安全就業基準」などを守ることで、皆さんの安全・健康が保持されるのです。

● 安全とは（安全は自己責任）

事故無く就業に従事できる環境を表現する事であると思います。「安全就業」に際しては、こまごまと内容を掲げれば無限に拡がっていると思いますが、あらためて一日の行動について述べさせていただきます。

- ① 就業先へ向かう際の経路途中における交通マナーの遵守
- ② 就業前の挨拶・準備体操・ミーティング・注意事項・作業環境の点検・服装・装備・道具類の点検
- ③ 就業中の心構え
環境（周囲）への目配り気配り・声掛け・命綱・刈払機使用時の養生・凹凸や段差での躓き・床面の滑りなど
- ④ 終業後の後片付け・整理・整頓・就業時の反省

- ⑤ 帰宅時の経路途中の交通マナー遵守（就業時の疲労もあるので、細心の注意が肝要）

● 健康とは（健康は自己管理）

身体に悪いところがなく心身が健やかな状態であることをあらわしていると思います。「安全就業」同様に1日の行動について考えてみましょう。

- ① 起床時に体調の変化はないか
- ② 朝食はいつもと変わらなかったか
- ③ 経路途中で体調に変化はないか
- ④ 就業中にめまい、気分が悪いとか（熱中症の疑い等）、早目に仲間へ連絡をする
- ⑤ 就業後は、寄り道せずに帰宅する
- ⑥ 一日の疲労回復には、入浴が肝要
- ⑦ 夕食時を含めて暴飲暴食を慎しみ、早寝を心掛ける
- ⑧ 定期的に健康診断を受ける
お仕事の休みの日は、身体を休めることも必要ですが、だからといって何もしないのではなく、気分転換、柔軟体操などを行ない健康維持を心掛けましょう。



● 安全管理委員会の役割

安全管理委員会では、永遠のテーマである安全就業と健康管理を基本にした「安全管理対策実施計画」の中から抜粋した重要項目をあらゆる角度から検討して、皆さんが健康で安全に就業できるよ

う推進していきます。

1. 事故事例を職群別に整理し、早期に周知徹底する。また、季節的に起きやすい事故については注意を喚起し、その防止策をはかる
2. 安全管理委員ならびに安全対策推進委員は、事故報告を受けて内容を協議検討する。〔重度な事故や賠償事故に関しては、関係者を招集して打開策を見出し、今後の防止対策を講ずる〕
3. 安全就業研修会を実施する（除草、交通安全・健康講演会、植木、その他）安全管理委員会のメンバーは、「東京しごと財団」が主催する研修会にも参加する
4. 健康ハイキングを年1回実施する
5. 月間事故ゼロ運動（春・秋）を実施する
6. 『歩行中の転倒と自転車運転中の事故をなくそう』運動を展開する
7. 屋外作業の安全就業対策を推進する
 - ① 安全巡回時に、植木剪定・除草などの就業現場では、所定のチェック項目リストで安全状況を確認する
 - ② 植木剪定・除草の安全就業研修の討議記録は、各人にフィードバックする
 - ③ 除草就業者に対して、刈払機の安全使用研修を年1回実施する
8. 屋外作業では「声かけ」「気配り」を習慣化するよう啓蒙する
9. 会報「安全フォーラム」を年2回（春・秋）に発行する〔事故の実体と健康管理〕を主なテーマとする

以上の項目を、よく理解していただき安全意識の向上に向けて、なお一層の努力をお願いします。

今年度から発行を始めた会報「安全フォーラム」は、安全と健康に関して安全管理委員会と会員の橋渡しであり、大いに情報交換の場として活用いたします。

【安全管理委員会活動の一部】



（安全巡回）



（除草研修会）



（安全管理委員会 メンバー）

11 役員と職員

《役員》



後列・左から山辺 司朗、小松 隆、坂本 和義、田島 昭治、瀧田 次郎、松田 敬慶、齊藤成實
 中列・左から松岡 武夫、岩尾 静香、大庭 広重、小谷 雅伸、高橋 俊介、鎌倉 豊、小泉 光子
 前列・左から春日部 幸作、斎藤 實、置田 幸子、真角 喜久子、古屋 和彦、矢内 邦夫、堀場 淳
 福田 稔（敬称略）

(会長)
 真角 喜久子
 (副会長)
 置田 幸子
 古屋 和彦
 (常務理事)
 矢内 邦夫
 (総務部 部会長)
 春日部 幸作
 (事業部 部会長)
 斎藤 實
 (広報部 部会長)
 福田 稔
 (監事)
 瀧田 次郎
 田島 昭治
 (理事)
 岩尾 静香
 鎌倉 豊
 大庭 広重
 小泉 光子
 小松 隆
 小谷 雅伸
 高橋 俊介
 坂本 和義
 高堀 淳夫
 松田 敬慶
 松田 良蔵
 山辺 司朗
 (50音別)

《職員》



後列・左から 石田 圭二、米田 幸代、阿波野ゆう子、聖田 理恵子
 池野 系、河野 加奈子、鹿谷 恵介
 中列・左から 原口 恵、吉見 直子、善方 康真、石川 智美
 竹本 英子、清水 めぐみ
 前列・左から 天野 美佐子、松田 良蔵、高須 正則、花上 学

(事務局長)
 松田 良蔵
 (事務局長代理)
 高須 政則
 (次長)
 花上 学
 (主任)
 池野 系
 阿波野 ゆう子
 (主事)
 石田 圭二
 熊谷 志介
 (鶴川事務所長)
 天野 美佐子
 (嘱託)
 善方 康真
 (臨時職員)
 吉見 直子
 清水 めぐみ
 竹本 英子
 堅田 理恵子
 原口 恵子
 米田 幸代
 河野 加奈子
 石川 裕美

青春

原作 サミュエル・ウルマン
邦訳 岡田 義夫

青春とは人生の或る期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。
優れた想像力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、
安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。
年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。
歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ、
苦闘や、狐疑や、不安、恐怖、失望、
こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、
精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。
年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。
日く、驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きにも似たる
事物や思想に対する欽仰、事に處する剛毅な挑戦、
小児の如く求めて止まぬ探究心、人生への歓喜と興味。
人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる。
人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる。
希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる。
大地より、神より、人より、美と喜悅、勇氣と壮大、
そして威力の靈感を受ける限り、人の若さは失われない。
これらの靈感が絶え、悲歎の白雪が人の心の奥まで蔽いつくし、
皮肉の厚氷がこれを固くとぎすに至れば、
この時にこそ人は全くに老いて、神の憐みを乞うる他はなくなる。

オリジナルは「YOUTH」

「青春とは」のオリジナルは「YOUTH」で、書いたのはユダヤ系アメリカ人の実業家サミュエル・ウルマン（1840～1924）。

1920年80歳の誕生日に、家族がウルマンの詩集「80年の歳月の頂から」を出版しましたが、その巻頭を飾った詩が「YOUTH」で、1918年に書いたとされています。

サミュエル・ウルマンは、「青春とは、夢があること」そしてその実現のために情熱を燃やしていること」と書いています。「夢×情熱」＝「青春度」という式が成り立つのです。年齢が若いから青春だと錯覚している人もいるのではないのでしょうか。

設立30周年記念誌編集委員

江川 雄 而	鎌倉 豊
小泉 光 子	小島 二三郎
齋藤 成 實	高須 政 則
田中 良 也	長谷川 賢 一
福田 稔	真角 喜久子
松下 静 枝	松田 敬 廣

(アイウエオ順)

あとがき

設立30周年記念誌の最終校正を手にしてホットしています。

例年になく暑さの中の写真撮影に汗を流した事や、会長、市長、しごと財団理事長の鼎談のテープをもとに原稿起こしから、度重なる校正に苦勞したことが思い返されます。30年の歴史の中で大きく発展してきた、現在のシルバーを取り巻く経済環境の厳しさに、これからの将来に対し一同気を引き締めているところです。

シルバーがますます発展するように努力していきたいと思ひます。 (編集委員一同)



創立 30 周年記念誌「銀齡」

発行日 平成 22 年 11 月 10 日

発行所 社団法人 町田市シルバー人材センター

〒194-0022 東京都町田市森野 1 丁目 1 番 15 号 わくわくプラザ町田内

TEL 042-723-2147 (代) FAX 042-724-0407

編集担当者 創立 30 周年記念誌「銀齡」編集委員会

印刷所 タイヨー印刷株式会社

本書の一部を無断で複写・複製（コピー）することは、ご遠慮ください。
本書からの複写・複製を希望される場合は、必ず町田市シルバー人材センターに
ご連絡ください。